GRAND DESIGN 2040

北海道教育大学グランドデザイン 2040

国立大学法人 北海道教育大学

令和 8 年 8 月

人口減少と社会構造の変化の中で
北海道教育大学が問われているのは、

地域の未来にどのような**価値**を創り続けるか である。

広域分散型社会である北海道において、
北海道教育大学は、
北海道の教育を支える中核としての役割を果たしてきた。

しかし近年、地域をはじめとして、
学校・教員を取り巻く環境の持続可能性が、
厳しい局面を迎えている。

そこで今、本学は次の時代に向けた新たな段階へと踏み出す。

本学は、教員養成機関という枠組みを超え、
「生涯を通じた教育人材育成のプラットフォーム」
へと進化する。

さらに、教育研究の知を広く社会へと開き、
地域社会を支え、課題解決と価値創造を担う
多様な人材を育む拠点へと転換する。

それは、教職員一人ひとりの知と実践が結びつき、
北海道の地域特性に即した新たな教育のかたちを
創り出していく挑戦である。

そして、その挑戦を通じて、

本学は北海道の教育と地域社会を支える新たな役割を担う

01 はじめに

近年、我が国の高等教育を取り巻く環境は大きく変化している。とりわけ、「知の総和」に関する議論に象徴されるように、人口減少が進む社会の構造変化に伴って、大学には個々の知を結集し、社会課題の解決と新たな価値創造を牽引する役割が求められている。また、「国立大学法人等改革基本方針」においては、各大学がその強みと特色を最大限に発揮しつつ、機能強化と経営改革を一体的に推進することにより、持続可能な高等教育システムを構築していくことの重要性が示されている。

こうした政策動向に加え、北海道総合教育大綱（令和７年４月施行）によれば、「全国を上回るスピードで人口減少や少子高齢化が進み、広域分散型で人口の偏在・市町村間の格差拡大が見込まれる北海道では、若者の都市部集中や道外への人口流出などにより、地方の過疎化が進行し、地域社会の教育力の低下に加え、学校数の減少や小規模校化による教育の機会均等や学びの質の保障に対する重要性が高まっていることなどへの対応」が課題として示されている。

これまで本学は、広域分散型の北海道において、札幌、旭川、釧路、函館及び岩見沢という５つのキャンパスが、教員養成や地域に貢献できる人材の育成を行ってきた。

北海道の教育課題の解決に資するためには、5 つのキャンパスが教員養成・学科の枠を超えて、同じ目的を共有し、それぞれのリソースを相互に活かした人材育成と教育研究を展開できる「システムとしての北海道教育大学[1]」を再構築していく必要がある。

このような社会的背景や地域課題を踏まえ、本学は 2040 年を見据えた将来像の構築にあたり、以下の４つの側面から改革を進めていく事とした。

- 本学の機能強化と価値創造
- 18 歳人口の減少・少子化に対する対応
- 財政健全化に資する組織改革
- 広域分散型社会・北海道における高等教育へのアクセス維持

本グランドデザインは、これらの４つの視点に基づき、2040 年を見据えた本学改革の大きな方向性として策定したものであり、本学の新たな使命（ミッション）、将来像（ビジョン）、及び行動指針（バリュー）によって構成される。これらは本学の将来を方向付ける基本理念である。組織運営や改革の具体的方策については、この基本理念を踏まえ、今後、速やかに策定を進める「大学戦略 2040」及び次期中期計画において定めていくこととする。

[1] 教員・職員全員が、キャンパスや部局を超えて教育・研究・社会共創において相互に協力・補完し合うことでキャンパス間の連携を実質化し、機能強化と同時により効率的な経営・運営を行う仕組み

02　2040 年を見据えた本学の基本理念

（1）　ミッション（使命）

北海道教育大学は、子どもの学びと成長を支える

質の高い人材の養成と、地域社会を共に創る人材の育成を担い、

教育研究を通じて「これからの教育」を提案し、

その実践を支えることで、

教育から地域の未来に貢献する。

(2)　ビジョン（将来像）

本学は、教員養成を基軸とし、全学的な協力・補完体制である「システムとしての北海道教育大学」の再構築により、教育・研究・社会共創の一体的な展開を通じて、以下の３つの将来像を実現する。

① 北海道の教育を支え続ける「揺るぎない拠点大学」

北海道の教育インフラを支える大学として、教育の質の向上と人材の輩出を通じて地域における人の成長を支えるとともに、複雑化する教育課題の解決を先導する実践的研究拠点としての機能を担う大学。

② 地域と社会に開かれ、未来を共に創る大学

社会に開かれた大学として、自治体や産業界等との連携・協働のもと、附属学校園を実践的基盤に、広域分散型社会に対応した教育研究を展開し、多世代にわたる学びを支え、地域の活力とウェルビーイングの向上に貢献する大学。

③ 時代とともに進化し続ける大学

持続可能かつ先進性のある大学として、環境変化に柔軟に対応する戦略的な大学経営と全学一体の組織運営のもと、教育・研究・社会共創の質を不断に高め、社会から信頼される基盤を確立する大学。

(3)　バリュー（行動指針）

常に学生の主体的な学びに伴走し、

私たちは、すべての教育活動の中心に学生を据え、一人ひとりの学びと挑戦を尊重します。実践と理論の往還による高度な探究を基盤とした教育と、一体的な支援を通じ、学生が「ここで学び、挑戦したい」と実感できる環境を着実に進化させます。

知の探究を深め、

私たちは、自らの専門性を深め、互いの独創的な研究を尊重します。その上で、その個々の知を組織的・分野横断的に発展させ、学内外の多様な知と結び付けながら、地域課題の解決と新たな価値創造に貢献する臨床的研究を推進します。

キャンパスの枠を超え、

私たちは、キャンパスや部局の枠を超え、連携・協働を強化します。道内分散配置という本学固有の環境を、更なる強みへと発展させ、教育・研究資源の共有と相互補完を通じて、大学全体の価値を高め続けます。

地域社会と知を結び、

私たちは、各キャンパスの強みを活かし、地域との対話と信頼関係を基盤として、多文化共生と多様性を尊重しながら、教育研究の知を広く地域社会へと開きます。また、リカレント教育の推進により、多世代の学びを支え、持続可能な社会の実現を先導します。

教育の未来をともに創り続けます。

私たちは、社会のニーズを捉え、多様なステークホルダーと共に自らを変革し続けます。教職協働のもと、新たな学びの価値と教育の可能性を拓き、次代の教育を先導する組織の進化に取り組みます。

03　おわりに

本学はこれまで、社会の要請に応じて自ら変革を重ねてきた。全国的に見ても早いスピードで人口減少が進む北海道において、本学には、知を地域に循環・定着させる「知の拠点」として、これまで以上に重要な役割が期待されている。

知を地域に根付かせるためには、それを次世代へとつなぐ人材の育成が不可欠である。本学は、「教員養成」という従来の枠組みを、教育に関わる様々な人材の全キャリアステージをカバーする人材育成システムとすることにより、「**生涯を通じた教育人材育成のプラットフォーム**」へと進化する。

これによって、子どもの学びと成長を支える質の高い人材を養成するとともに、教育から地域社会を共に創る人材の育成を推進する。

これらを支える基盤として、本学は、大学教員自身が学校現場の課題や地域の実情を深く把握し、臨床的な研究並びに学生指導へとそれを反映させることのできる体制の確立と、各自の専門分野を活かし、教育人材育成を担う意識を高めるような大学教員の育成・研修を展開することにより、教育・研究力の向上を追求していく。

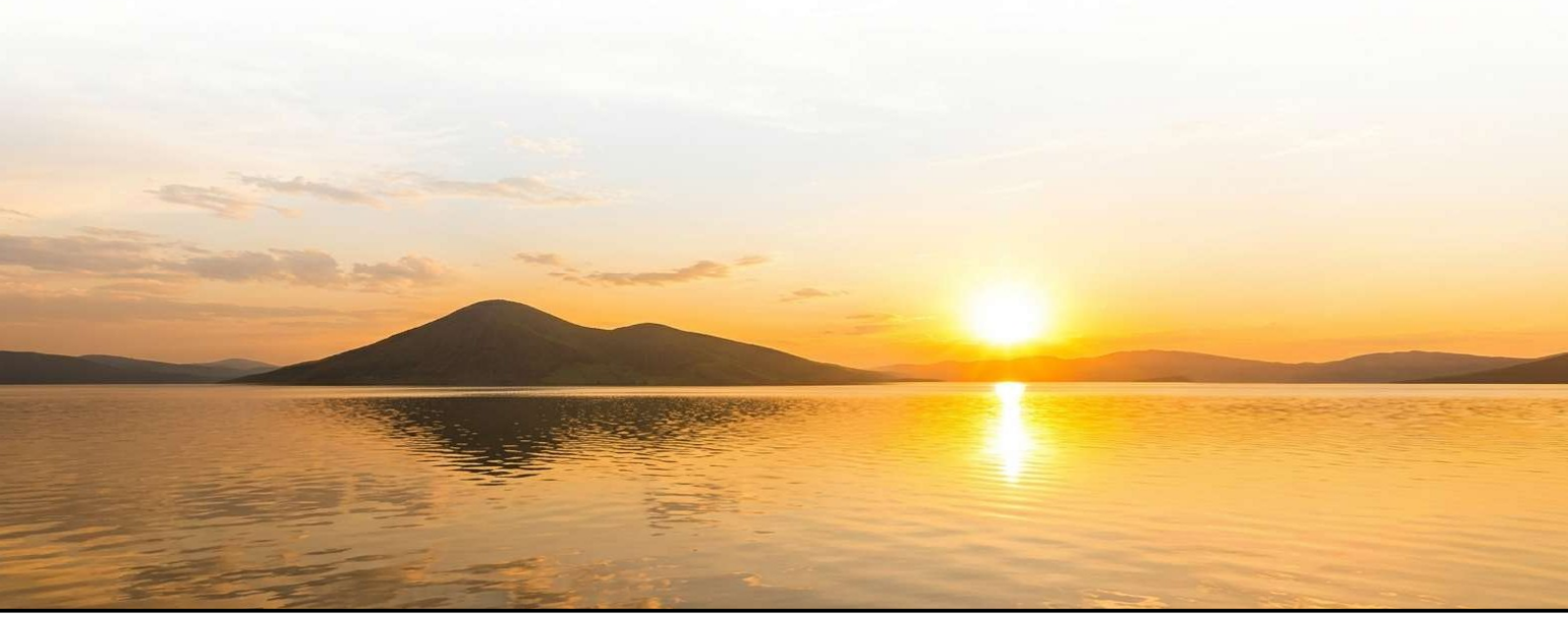
この行動指針のもと、第５期中期目標期間においては、札幌、旭川、釧路、函館及び岩見沢の５つのキャンパスが相互に連携し、それぞれの地域に根ざしつつもキャンパスの枠を超えた教育・研究活動を展開することにより、教育から地域の未来に貢献する。

今後、本学は、2040 年を見据えての社会環境の変化に対応した教育・研究機能の再編に主体的に取り組む。そこでは、教員養成課程や学科の枠を超えた柔軟な組織の在り方を検討し、必要な改組を進めることで、機能強化を目指す。

北の大地から
教育の力で社会を変え、
共に未来を創り出す。

北海道教育大学グランドデザイン 2040

分散を力に、全学をひとつに



■ 北海道教育大学グランドデザイン 2040 策定の経緯及び位置付け

【策定の経緯】

- **令和７年６月**：学長諮問「2040 年を見据えた北海道教育大学の『将来像の構想』について」
- **令和７年６月～令和８年７月**：大学戦略本部等において、機能強化、組織改革、少子化への対応、高等教育のアクセス維持等の観点から審議実施
- **令和８年７月**：大学戦略本部「グランドデザイン検討戦略チーム」による第一次答申
- **令和８年８月**：学内外からの意見を踏まえ、「北海道教育大学グランドデザイン 2040」を策定・公表

【現行 MV との関係】

- **現行 MV の継続**：第 4 期中期目標期間（令和 10 年 3 月 31 日まで）は、現行のミッション・ビジョン（MV）が引き続き効力を有し、大学運営及び業務・評価の基本とする。
- **新 MVV の発効**：本グランドデザインで掲げる新たなミッション・ビジョン・バリュー（MVV）は、第 5 期中期目標期間の開始日である令和 10 年（2028 年）4 月 1 日に発効する。
- **グランドデザインの役割**：本グランドデザインは、策定から令和 10 年 3 月 31 日までの期間において、具体的な組織改革や「システムとしての北海道教育大学」の再構築を示す「大学戦略 2040」及び第 5 期中期目標・中期計画の策定・具体化に向けた基本的な方向性を提示するものとする。

国立大学法人 北海道教育大学